

平成27年度事務事業評価シート						取組みコード	21413
区分	事務事業		担当課	住民課		作成日	平成27年5月15日
事業名	安全・安心まちづくりパトロール事業		開始年度	平成17年度	予算科目	2.1.15.1.2	

1 事業の概要

総合計画での位置づけ			
部	第2部 安全で安心して暮らせるまちづくり	章	第1章 災害対策と安全対策
節	第4節 防犯対策の推進	基本施策	1 地域防犯体制の充実
取組みの基本方向		(3)安全・安心パトロールの推進をはかるとともに、地域住民が自主的に進める防犯パトロール活動等の支援につとめます。	
根拠法令等			
目 的 (誰・何を対象に、何のために)		不審者の早期発見による犯罪の未然防止の他、犯罪発生の抑止効果や、町民の防犯意識を高めることにより、「安全・安心のまちづくり」の推進を図る。	
内容・方法 (何を行って、いるのか)		業務委託した警備会社の巡視員2名により、青色パトロール車を使用し、町一円を巡回パトロールする。	

2 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の節の成果指標		指標名		平成21年度	平成28年度			
		『防犯対策の推進』について「満足」と感じる住民の割合		33.2%	43.0%			
		犯罪の発生件数		554件/年	500件以下/年			
(A)総合計画の節の目標を達成するため本事業に求められる成果				犯罪の減少				
(A)の成果をあげられているか測るための指標(成果指標)	増減	指標の説明		項目	基準年度 (平成24年度)	平成25年度	平成26年度	平成27年度
犯罪の発生件数	減	町内で発生した犯罪の発生件数		計画値		395.0	373.0	343.0
				実績値	395.0	373.0	343.0	
				達成度※自動計算		105.9	108.7	
(B)成果指標の目標を達成するため本事業において町が行う活動				安全・安心パトロールの実施				
(B)の活動状況を測るための指標(活動指標)	増減	指標の説明		項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度
巡回パトロール日数	増	巡回パトロールを実施した日数		計画値		244.0	244.0	243.0
				実績値		244.0	244.0	
				達成度※自動計算		100.0	100.0	0.0

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3 事業費の推移と財源内訳

3 事業費の推移と財源内訳				(E) 平均人件費(円/年)	8,300,000	
年 度			基準年度(決算) (平成24年度)	平成25年度(決算)	平成26年度(決算見込)	平成27年度(予算)
(A) 事業費(円)			6,706,980	6,933,742	3,981,182	4,955,000
(B) 概算職員数(人)			0.060	0.060	0.060	0.060
(C) = (B) × (E) 人件費(円) ※自動計算			498,000	498,000	498,000	498,000
(D) = (A) + (C) 総事業費(円) ※自動計算			7,204,980	7,431,742	4,479,182	5,453,000
単位当たりコスト※自動計算			18,240.5	19,924.2	13,058.8	
財源内訳 (円)	特定財源	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
	一般財源※自動計算		7,204,980	7,431,742	4,479,182	5,453,000

4 事業の項目別評価(分析)

項 目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	法令等で義務付けられた事業である		B
	民間サービスで同様の事業は実施されていない、市場原理に委ねることができない		
	国や県において同類種の事業が実施されていない	○	
	事業開始時から事業目的や町民のニーズの変化がない	○	
	事業・サービスの提供時間帯及び場所は公平に提供されている	○	
	受益に応じた負担は適正である	○	
	事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質である	○	
	町民の日常生活に必要不可欠な事業である		
上記のいずれにも当てはまらない			
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成26年度の目標を達成している	○	A
	基準年度と比較して成果が向上している	○	
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (費用の縮減率が成果の向上率以上か)	費用減、成果アップ	A
有用性 (施策の成果指標の目標達成に貢献しているか)	総合計画の節の目標達成のための本事業の効果	直接的	A
	総合計画の節内での本事業の優先順位	高い	
総合評価 ※自動判定		良好に実施できている	

5 特記事項

犯罪発生件数は、生活に身近な犯罪(空き巣や自動車盗などの窃盗犯)と凶悪な犯罪(殺人、傷害など)とに分類されるが、事業の成果で生活に身近な犯罪(窃盗犯)は減少している。

6 自己評価(担当課)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡 充	☐ 改 善	☐ 縮 小	☐ 再 構 築	☐ 廃 止
理由	町民の安全で安心して暮らしたいというニーズは高いため。					
今後の方向性	多様化する犯罪手口を把握するとともに、青色パトロール車の巡回を行うことで犯罪発生抑止を図る。					

7 1次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡充	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	所管課の方向性のとおり					

8 2次評価(外部評価:行政改革推進委員会)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡充	☐ 改善	☐ 縮小	☐ 再構築	☐ 廃止
今後の方向性に係る意見等	パトロール車による巡回は一定の犯罪抑止効果があると思われるので、車両の放送設備による効果的な広報や、回覧など他の方法による啓発と併せ、常に見直し、改善を行いながら実施してほしい。					

9 2次評価(実施のない場合は1次評価)を踏まえた対応案(担当課)

現状のまま引き続き実施するとともに、振り込め詐欺防止の呼びかけや、厚木警察署などから情報を得ながら、常に最新の防犯対策に取り組みながら、安全・安心まちづくりパトロール事業を実施する。

10 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	☒ 現状維持	☐ 拡 充	☐ 改 善	☐ 縮 小	☐ 再 構 築	☐ 廃 止
理由・改善方針	所管課の方向性のとおり、現状の事業を継続するとともに、常に見直しを行うことで、より効果的な防犯対策に取り組む。					